

＜ 運営推進会議における評価＞

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 美生会	事業所名	ヴィラージュ虹ヶ丘 看護小規模多機能型居宅介護
所在地	(〒215-0015) 神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘 1-22-1-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

医療機関との連携を強化し、退院された方や看取りが必要な方などを積極的に受け入れ、ADL の維持向上を図りながら在宅復帰を視野に入れて対応しています。

従事する職員は積極的に研修を受講させ、人材の育成強化を図っています。

また、業務への反映が出来るよう研修受講者がフィードバックできる体制を確保し内部職員の活性化に繋げています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 2 月 28 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 3 月 26 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■自事業所職員 (3 人) □市町村職員 (____ 人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (1 人) □利用者 (____ 人) ■利用者の家族 (1 人) □知見を有する者 (____ 人) ■民生委員 (1 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引ができる介護士の拡大 ・個人目標管理の継続または、自己成長につなげるための研修計画を立てる ・職員間の連携強化に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引受講の実践研修では新型コロナウイルスの影響による病院での受講受け入れが困難だったため今年度は新たに資格取得した介護士はいなかった ・年間研修計画を立て実践することが出来た ・朝会、ミーティング等で意思を言える場を作り情報共有、連携強化に努めた 	<p>喀痰吸引取得者が常勤6名中2名となり、今後宿泊利用の制限が出ることを懸念。再度喀痰吸引ができる介護士の拡大</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが中心となりケアプランに沿った看護、介護、医療が連携できる ・登録人数確保の継続 ・訪問介護、訪問看護の件数拡大 	<p>ご家族、ご本人の意見を取り入れ、ひとりひとりのご利用者にあったケアプランの作成、実践ができた</p>	<p>新規利用の相談にも困難事例系の方が多くなってきている。他事業にサービスの使い方のメリットを理解してもらう努力が必要</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の主治医との連携強化のための具休案を考えていく ・運営推進会議での取り組み内容や課題について報告、意見を貰う ・インフォーマル的な連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が訪問診療に立ち会うことで医療連携強化に努めた ・運営推進会議において取組内容などを報告し意見等を頂いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医との連携等が更に円滑に行われるように計画を持った支援が必要である ・インフォーマル的な連携の取り組み
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動による周知の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌に行事等の内容を乗せ、活動内容を知ってもらった ・ホームページに載せ更新していった 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による地域活動の低迷下 ・ホームページ等のネット活用の拡大

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケアの受け入れ継続 ・安心して在宅生活が継続できるよう支援する 	亡くなった後にデスカンファレンスを持ち、看取りケアの関りを振り返る	看取りに対しての不安がある職員もまだまだ多く、今後もデスカンファレンスは継続し深めていきたい
-------------------------	--	-----------------------------------	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		主に事業所全体的な評価となるが、感染対策をしながら職員はよく頑張っているように感じたので継続してほしい。 地域活動がうまくいかないとはいえ、地域交流スペースに設置している喫茶「つどい」が、もったいなく思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引ができる介護士の拡大 ・個人目標管理の継続、自己成長に繋げるための研修計画を立てる。 ・感染対策強化（マニュアル作成）
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		<ul style="list-style-type: none"> ・看護、介護、ケアマネジャー、理学療法士等の連携の強化を図る（ミーティングでの話し合い・朝会でのミニカンファレンス） ・担当者会議の充実 ・登録人数の拡大
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		<ul style="list-style-type: none"> ・主治医又はインフォーマル的な連携の強化 ・運営推進会議にて情報提供をし、ご意見を頂く。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者を取り巻く近隣住民とのかかわり方 ・地域活動への参加
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> ・在宅、看多機での看取りサービスの継続 ・家族の介護力低下に対応する総合的支援 ・独居の方のサービス提供のあり方 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します